

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	低所救出訓練中、降下時に負傷した事案
3. 体験した事例の中心的要素	約7m下にいる要救助者を救出する訓練実施中、下降器により壁面進入時に、降下姿勢及び下降器の操作を誤ったためバランスを崩し、B塔東面の鉄骨に前額部を衝突したものの。
4. 体験した事例の原因・理由	・資機材取扱い要領の不適 ・降下姿勢の不適

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。(誤った手順を取った等)
------------------	---------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	令和5年11月3日 午後2時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外: 高さ約7mの訓練塔
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	激突
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[救助(通常時)]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	低所救助訓練
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[21]歳、勤続年数[3]年、現場経験年数[3]年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[36]歳、勤続年数[13]年、現場経験年数[13]年、階級[消防士長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [車長]
○当事者C	年齢[46]歳、勤続年数[28]年、現場経験年数[27]年、階級[消防司令] 同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [複数隊の隊長]
○その他(当事者が4人以上の場合)	その他訓練隊員

11. 事例発生の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者Bが	低所訓練を企画、資機材、Rマットの設定	
経過2	当事者Bが	訓練目的、設定要領の説明及び確認	
経過3	当事者B、Cが	塔上、塔下の安全管理の配置につき訓練開始	
経過4	その他訓練隊員が	1回目の訓練終了しフィードバック実施	
経過5	当事者B、Cが	塔上、塔下の安全管理を実施	
経過6	当事者Aが	2回目の訓練を実施	
経過7	当事者Aが	降下途中に、バランスを崩し鉄骨に衝突	
経過8	その他訓練隊員が	Aを塔上に引揚げ、処置を実施	
経過9	その他訓練隊員が	Aを塔下に下ろし救急車内収容	
経過10	当事者Aが	病院収容	
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？
- ヒヤリハットの場合: ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった 資機材の操作がうまくいかなかった その他: ディフィカルトエッジでの降下訓練は初めてだった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	はい
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

訓練を実施する前に危険箇所を予測、周知、共通認識を持たせ訓練を実施する。焦らず訓練するよう指示をし訓練を実施する。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

再現写真

(同僚による再現写真)



懸垂ロープに下降器及びアサップロックを取りつける



B塔東側より進入準備



降下体勢をとり、降下準備



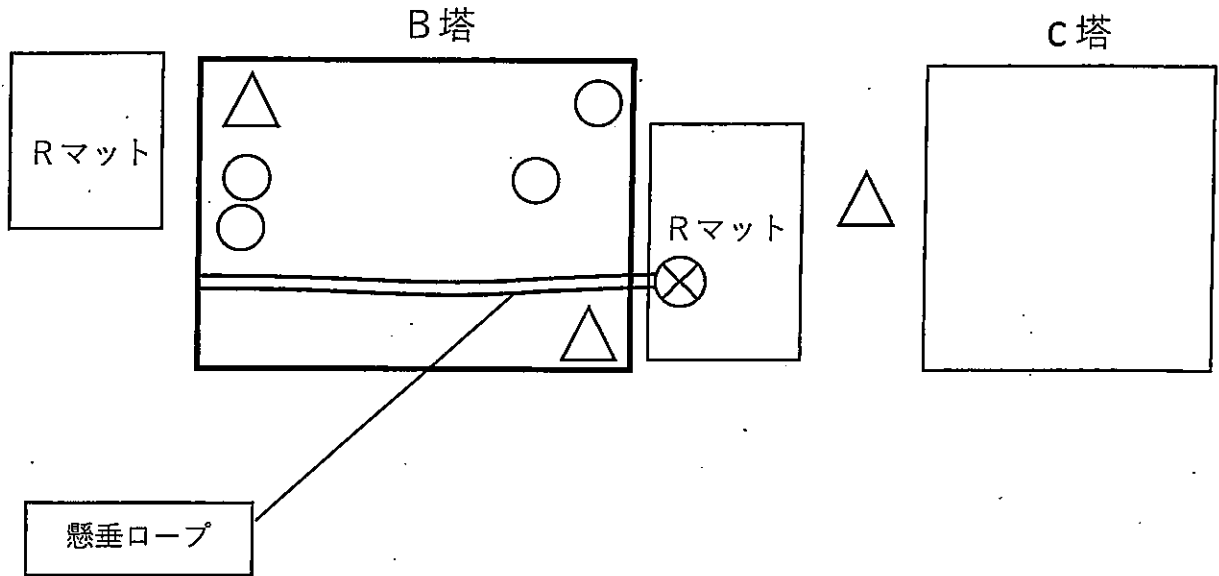
バランスを崩し①の方向へ体が振られ、
戻ってくる反動で②の方向へ振られて
鉄骨に衝突したもの

バランスを崩し、鉄骨へ衝突

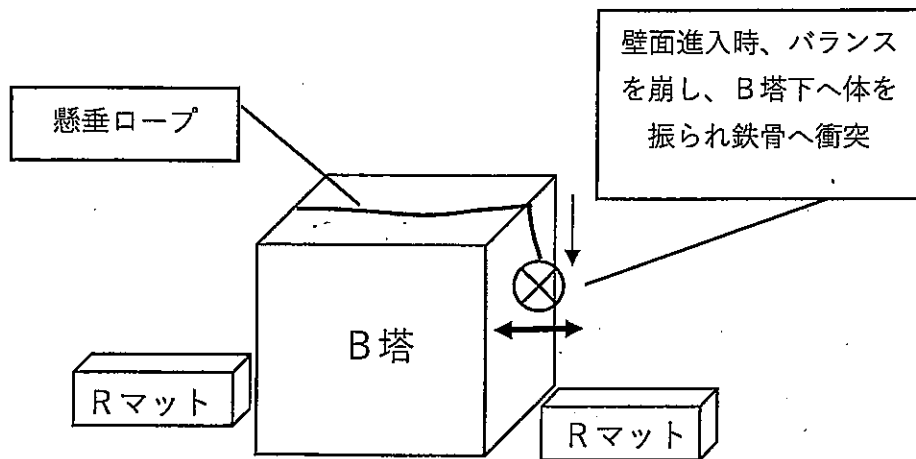
現場見取り図



平面図



立面図



- △ 安全管理者
- 訓練隊員
- ⊗ 負傷職員